

# 多胎児を育てる親



# 市議会

今回は、多胎児<sup>※</sup>を育てているお父さん、お母さんにお集まりいただき、子育てに関する思いや悩みなどについて語っていただきました。

※多胎児 双子・三つ子などの総称



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

## お母さんたちを社会でサポートできる制度が

## あればいいなと思います

〈妊娠した時の思いと、それを聞いたときの思いは？〉

■不安よりわくわく、ちょっと楽しい、でも色々大変だろうなという気持ち ■ただただびっくり、時間がたつにつれて受け入れていきました ■想定外でしたが、大変な妊娠、出産が1回で済むというメリットもあるので不安はありませんでした ■子どもは2人欲しいと思っていたので、ハッピーだと思いました ■旦那さん ■頭が真っ白になりました。旦那さん

が「大丈夫、頑張ろう」ではなく一緒に「どうしよう」って思ってくれたのが逆に良かったな ■家を建てたばかりで、部屋が足りないと感じました。子育て自体が初めてで、双子がピンとこなくって、まさにどうしようって感じでした

〈お子さんを産んでから大変だったことは？〉

■0歳から1歳の頃はまず寝れない、寝不足だと気持ちも落ちるし、1歳から2歳までは

〈あきる野での子育てはどうですか？〉

■家の目の前が畑なんです。あきる野は自然豊かで環境はすごくいいと思っています ■一時保育を利用する前の面談に、2人を連れていくのがちょっと大変だと思って思いました ■シッターさんとか訪問型のサービスも少なかった。サービスが足りないわけではないけど、気軽に頼める環境ではないというのはありますね ■仕事もしているので、1歳で2人同時に保育園に入れたのは、ありがたいと思っています。一時預かりはやはり料金が高くて、何度も預けるのは躊躇しましたね

〈市議会や市に伝えたいことは？〉

■議会だよりがあることを知らなかった。新聞をとっていないので、情報が入ってこない。子育て世代は気持ちも時間も余裕がないんです ■情報発信の仕方を紙媒体からYouTubeとかインスタに変えていくと、意外ととっつきやすかったです ■親、おじいちゃんおばあちゃん、地域の方みんなで支えあって子どもを育てる、それが一番の理想。核家族化や地域との繋がり希薄化が、子育てのしづらさや虐待の増加につながっていると思うので、そういったサポートが必要なんじゃないかな ■気軽に親がリフレクシユできる体制がもう少し整えばありがたいですね ■親や相談できる人が近くにいないお母さんたちを、社会でサポートできる制度があればいいなと思います



# ● 12月定例会議 議案審議 ●

## あきる野市の

## こんなことが決まりました。

12月定例会議 会議期間23日 11月25日～12月17日

12月定例会議の議案等は

|          |     |
|----------|-----|
| 諮問……………  | 1件  |
| 市長提出議案…  | 19件 |
| 陳情……………  | 1件  |
| 議員提出議案…  | 2件  |
| ※動議…………… | 1件  |

今号ではこの中から8つを Pick up

※動議 会議中に予定議案以外の議題等を議員が提出すること

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。

〈議案第112号〉 あきる野市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

### Pickup 1

会計年度任用職員の期末手当を0.05月分引き下げます。

東京都人事委員会の勧告に準ずる職員の給与改定に合わせ職員との均衡を図るため、会計年度任用職員の期末手当を0.05月分引き下げます。

(別議案で、職員、市議会議員、市長及び副市長、教育長の期末手当を0.1月分、再任用職員の期末手当を0.05月分引き下げることが決まりました。)

こんな質問が出ました。

Q 会計年度任用職員の引下げについては、都の人事委員会勧告概要に明記されていないが、引き下げた理由は。

A 補助的業務を担うべき会計年度任用職員の期末手当支給月数が、本格的な業務を行う再任用職員の月数を超えることは、地方公務員法の趣旨と違うのではないかと考えてから、再任用職員の月数に準じて改定を行うこととした。



〈議案第122号〉 令和2年度あきる野市一般会計補正予算(第9号)

### Pickup 3

阿伎留病院企業団に対し運営支援を行います。

新型コロナウイルス感染症の影響による減収等により厳しい経営環境にある阿伎留病院企業団に対し、構成団体であるあきる野市、日の出町、檜原村が、支援金と貸付金を合わせて総額5億円の運営支援を行います。あきる野市分として、支援金約8900万円、貸付金約2億8200万円を計上します。

〈議案第119号〉

武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事(債務負担行為)の請負契約について

### Pickup 2

武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事の請負契約を締結します。

武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事の請負契約について、みらい建設工業株式会社多摩営業所と契約金額8億7560万円で締結します。

こんな質問が出ました。

Q 長期間の工事契約のリスクとして、物価変動に伴う利益の損失、予算の確保の不調による工期の延伸、家屋移転補償の不調による工事の遅延、公共施設の移管までの間の補修の責任の4点について、契約約款等に記載されるのか。

A 従来の工事契約約款の中で対応できると判断している。

Q 予算の確保の不調及び家屋移転補償の不調により工事が遅れ、受注者に損失が出た場合には、市が補償することについていいののか。

A 明らかな発注者の落ち度に関しては、補償するようになっているかと思っ



〈議案第122号〉 令和2年度あきる野市一般会計補正予算(第9号)

### Pickup 4

クビアカツヤカミキリによる被害が確認された樹木を伐採します。

特定外来生物のクビアカツヤカミキリによる被害が確認された樹木(東秋留駅北口駐輪場の桜2本、秋川駅南口ロータリーの桜2本、屋城小学校の桜1本)の伐採を実施するため、委託料を計上します。

〈陳情第214号〉 加齢性難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める陳情書

### Pickup 5 加齢性難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める陳情書は不採択となりました。

高齢化が進む中で加齢性難聴者は増加しており、補聴器が高額なため、日常生活に不便を覚えながらも利用が困難な状況にあるので、補聴器購入に係わるあきる野市独自の補助事業を1日も早く実施してほしいという陳情です。反対議員が多かったため、不採択となりました。

こんな意見が出ました。

なぜこの身体機能の低下についての支援を行うのか市民に対して説明する必要性があり、そのための根拠を今から積み上げていく時間は必要だろと思うので反対する。

こういう公的補助は必要な部分もあると思うが、やはり税の公平性という部分を考えて少し時期尚早なので、反対する。

補聴器の利用によって、難聴による認知症にもつながらずに、日常を楽しく生活できればいいと思うので賛成する。



〈議員提出議案第216号〉

### Pickup 6 市議会議員の期末手当を10%減額します。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う社会情勢及び市の財政状況に鑑み、令和2年12月に支給される市議会議員の期末手当を10%減額します。  
(別議案で、市長及び副市長、教育長の期末手当をそれぞれ10%減額することが決まりました。)

あきる野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等の特例に関する条例

〈議員提出議案第217号〉 個人情報保護法の改正について慎重に検討するよう求める意見書

### Pickup 7 個人情報保護法の改正について慎重に検討するよう求める意見書を提出します。

個人情報保護については国の法律より自治体の条例が先行した経緯があり、制度の見直しに当たっては自治体の意見を十分に聞いた上で慎重に検討を進めるよう政府に求めるものです。全議員の賛成で、意見書を提出します。

提出先 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 デジタル改革担当大臣 個人情報保護委員会委員長

村木英幸あきる野市長に対する問責決議

### Pickup 8 市長に対する問責決議が可決されました。

現在策定中の第8期あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を巡る市長の言動について撤回を促すとともに、その責任を問う問責決議案が、動議として提出されました。採決した結果8対8の可否同数だったため、議長裁決により可決されました。

こんな意見が出ました。

市内の特養のベッド数は1320床で、市民の利用者は300人程度。この現状で市長は施設建設を掲げているが、人材育成を優先する委員会の意見も尊重すべき。

策定委員会の答申や市長の変更内容が不明な段階での問責決議は時期尚早。市長は自らの計画の根拠を示し、誠意を尽くして委員会との合意形成を図るべき。

決議案の採択が事態の収束にはならず、対立を深めるしかないため、退席する。



※問責決議 首長や議員の言動に対し、不適切であり責任を問う必要があると議会が判断した場合に提出される。過半数で可決されるが、法的拘束力はない。

## 主な議案等に対する会派の賛否一覧

| 議案等番号      | 件名  | 議決結果     | 自由民主党志清会(9人)※1 | 明るい未来を創る会(4人) | 公明党(3人) | 日本共産党あきる野市議団(3人) | くさしぎ(1人) |
|------------|---|----------|----------------|---------------|---------|------------------|----------|
| 市長提出議案 108 | あきる野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例                  | 可決       | ○              | ○             | ○       | ×                | ○        |
| 市長提出議案 112 | あきる野市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例 | 可決       | ○              | ○             | ○       | ×                | ×        |
| 市長提出議案 119 | 武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事(債務負担行為)の請負契約について        | 可決       | ○              | ○             | ○       | ○                | ×        |
| 市長提出議案 122 | 令和2年度あきる野市一般会計補正予算(第9号)                     | 可決       | ○              | ○             | ○       | ○                | ○        |
| 市長提出議案 124 | 令和2年度あきる野市下水道事業会計補正予算(第3号)                  | 可決       | ○              | ○             | ○       | ○                | ×        |
| 陳情 2-4     | 加齢性難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める陳情書                 | 不採択      | ×              | ×             | ×       | ○                | ○        |
| 動議         | 村木英幸あきる野市長に対する問責決議                          | ※2<br>可決 | ○              | ×             | 退       | ×                | ×        |

※1 議長は賛否に加わらない。

※2 可否同数により議長裁決

○:賛成 ×:反対 退:退席

# 聞いてみたいなこと



## 一般質問

### 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 19人 質問項目 45件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継を検索するか、スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取りご覧ください。公開は次号発行日までです。

### 市民に優しいまちづくりについて



大久保 昌代 (公明党)



**Q** バス停で日差し、風雨が防げる上屋やベンチの設置が望まれる。市の考えは。  
**A** 地域公共交通として利用しやすい快適なバス環境を整備することは必要である。公共交通検討委員会からも意見を伺いたい。

**Q** バス停の数は、路線バスが196か所、るのバスが102か所、共有がその内46か所ある。上屋やベンチが設置されている箇所はどのくらいか。  
**A** 上屋は路線バスが上下線合わせて46か所、るのバスには上屋はない。上屋のあるバス停にベンチは35か所、



その他は把握できていない。  
**Q** 檜原村には小屋風のバス停が設置され観光名所にもなっている。本市も多くの観光客が訪れるが、観光の立場からどう考えるか。  
**A** 観光のニーズに合わせた対応はしなければと思う。

**Q** バス待ち環境の整備を進めるためには、行政が補助金を出さないと実現が難しいようだ。バス事業者に補助している他自治体もある。本市において検討する考えは。  
**A** 国土交通省が紹介する様々な工夫をしているバス停や、他自治体の取組を参考に研究したい。

他にがん検診について質問した。

### 家庭訪問型子どもの学習・生活支援事業について



辻 よし子 (くさしぎ)



**Q** 子どもの学習・生活支援事業では、単に学習面だけでなく家庭環境における生活面からの支援が不可欠である。昨年12月の一般質問では、家庭訪問型の支援も検討するとの答弁があったが、その後の進捗状況は。  
**A** 実施方法を見直し、居場所の役割も持たせた集合型の支援と学習支援や悩み相談、養育支援等行う家庭訪問型の支援を検討している。

**Q** 集合型も見直しを図られることに期待する。家庭訪問型ではチラシでの応募を待つのではなく、支援を必要とする家庭にどう支援を届けるかが重要。市の考えは。  
**A** 最初に生活福祉等の関係部署が支援の必要と思われる家庭に事業を紹介し、その後、担当課も一緒に説明するなどして、支援に結び付けたい。

**Q** 業務委託になる場合の個人情報扱いは。  
**A** 保護者から事前に個人情報の共有の同意を得た上で、委託の仕様書に、個人情報の扱いの責務遵守を明記する。

**Q** プロポーザル方式で業者を選定する場合の評価項目は。具体的な項目は検討中だが、スキルや経験ある人材の確保が可能かどうか、研修やバックアップ体制が整っているかどうか等の項目が必要と考える。

他に合併処理浄化槽事業について質問した。



京丹後市では子どもの学習・生活支援事業に先進的に取り組んでいる。

### 行政評価について



増崎 俊宏 (公明党)

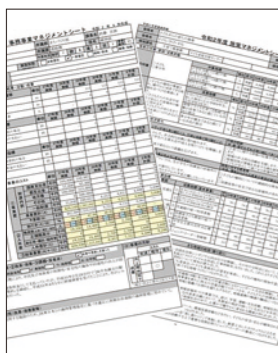


行政評価は、事務事業等について、その必要性等の観点から評価し、政策決定や次年度予算編成等に反映する制度である。総務省調査によると、平成28年10月時点で、全国地方自治体1788団体中、1099団体が導入しているが、本市は現在行っていない。  
**Q** これまでの行政評価の取組及びその成果は。  
**A** 平成14年度に行政評価システム導入。15年12月に行政評価マスタープラン策定。16年度から市民アンケート調査実施。継続的に行政評価に取り組み、総合計画に基づく事務事業の体系化、職員の事務事業に対するPDCAサイクルの考え方の定着など、一定の成果が得られ、23年度に全庁的な事務事業の見直しを実施。

ある中、今後どのように事務事業等を見直していくのか。  
**A** 市民アンケート調査による事務事業の見直し等を継続するが、効果的な事務事業の点検・評価等を行うため、第二次総合計画で、進捗状況等を管理する仕組みを構築し、可視化に取り組み。市民が総合計画に基づく施策の進捗状況等を確認できるようにするかと考える。

他に東京都後期高齢者医療における住所特例、死亡に関する手続の負担軽減等について質問した。

**Q** 経常収支比率が高い水準に



## 高齢者支援について



たばたあずみ  
(日本共産党)



**Q** 加齢による難聴がコミュニケーションを妨げ、認知症の引き金になることが指摘されている。高齢の中等度難聴者を対象に、補聴器購入助成制度を考えられないか。

**A** 加齢による難聴が引きこもりや認知症の危険因子のひとつであることは認識している。情報を収集し、現状を把握するとともに、他市の動向なども踏まえ、事業の必要性について研究したい。

**Q** 認知症の危険因子のひとつと認めているのに、何をいつまで研究するのか。

**A** 令和3年8月頃までに聞こえに関するアンケートなどで、ニーズ調査を実施したい。

**Q** 聞こえの重要性の周知、補聴器の必要性を知ってもらうため、健康のつどいなどで簡易な聴力検査などを行えないか。

**A** 検査実施は困難だが、チェックリストなどをイベントなどで利用することも考えられる。医師会の意見を聞くことも必要と考えている。



他に男女格差の解消について質問した。

## 産後ケア事業の充実に ついて



田中 千代子  
(公明党)



国の産後ケア事業は、ケアが必要な時期が産後4か月から1年に拡大され、令和3年4月1日より施行される。本市では、昨年より宿泊型、本年より通所型・訪問型が実施されている。

**A** コロナ禍において里帰りも制限される中、産婦に寄り添った産後ケアがますます重要と考え、以下伺う。

**Q** 産後ケアの期間が、産後1年まで拡大されることに伴って、利用者のニーズに合った利用日数や利用時間の延長などの検討が必要ではないか。

**A** 現在は宿泊型、通所型、訪問型で通算5日、多胎の場合7日利用できる。改正後の産後ケアガイドラインでは、宿泊型が原則7日以内だが、通所型と居宅訪問型には制限がないため、令和3年4月から対象時期の見直しと共に、利用日数や利



他にコロナ禍での子育て支援について質問した。

## 中学校の標準服について



松本 ゆき子  
(日本共産党)



女子生徒はスカートがあたりまえという思い込みが、安全性や機能性、またトランスジェンダーの抱える問題を見えなくしている。東京都中野区と世田谷区全区立中学校は、男子生徒がスラックス、女子生徒はスカートとしていたが、昨年4月から女子のスラックス着用を認めた。

**Q** 本市において、標準服の見直しなど検討を行った中学校はあるのか。



**A** 多様性を認め合い、誰もが安心して学校生活を送れるようにという観点から標準服の見直しを望むが、市の見解は。

**Q** 多様性を認める教育については、各学校で配慮して取り組んでいく必要がある。児童・生徒の多様性を認め、一人一人を大切にすることを学校に働きかけていく。他に学童クラブのトイレについて質問した。

## 永田橋から氷沢橋周辺の 道路環境整備について



山根 トミ江  
(日本共産党)



**Q** 永田橋から氷沢橋までの歩道の拡幅の進捗状況と今後の見通しは。

**A** 今年度は橋台の撤去に着手し、撤去が完了次第、新たな花ノ岡陸橋の架設工事を行う。用地買収の状況に合わせて歩道整備工事を行う他、無電柱化工事を行う予定。

**Q** 草花小学校の学童の通学路となっている永田橋から西方面へ通じる歩道はとても狭く、地域住民からも早期の拡幅を求める要望が以前から寄せられている。その後、用地買収の進展はあるか。

**A** 都が個別の案件毎に段階を踏みながら交渉を進めているが、交渉内容や進捗状況については個人情報関係から答えられないとのこと。引き続き粘り強く働きかけ



**Q** いなげやあきる野新草花店から南方面へ向かう氷沢橋交差点に、右折信号を設置するよう関係機関に働きかけを行ってほしいがどうか。

**A** 平成26年度から、福生警察署に継続して要望を行っている。いずみ通りが拡幅され、右折レーンが完成した後、信号を設置する予定との回答をもらっている。

他に公共交通の充実について質問した。

## 子ども・子育てについて



中村 のりひと  
(明るい未来)



**Q** 総合計画でもうたっている「全ての子ども」を標榜するのであれば、障害のあるなし関係なく保育園や幼稚園に入れる環境を整えるべきと考えられるかがかか。

**A** 市内の幼稚園や民間保育所などを対象に負担状況の把握を目的とした調査を実施中。その結果を参考とし、支援の在り方を検討する。

**Q** 里親やファミサポ提供会員にシヨートステイ事業の実施をお願いできないか。

**A** 里親に関することは児童相談所との協議や、里親の意向確認が必要。意見を伺い、研究したい。ファミサポ提



供会員には、宿泊を伴う預かりが可能なのか伺いたい。

**Q** 子ども・子育て支援総合計画の考え方は、保育料値下げより障がいがある子が安心して保育園や幼稚園に通える支援をすべき。市長が所信表明で掲げた保育料値下げなので理解するが、今回提案した事業は全て実現できると思う。来年度予算編成の中で実現可能性を探ってほしいかがかか。

**A** 無償化により市の支出が減り、その分子育て支援のために使えるお金が残り2500万円程ある。議員から提案があった政策に、最大限生かし、使っていきたい。

他に自殺対策について質問した。

## 農業振興について



合川 哲夫  
(明るい未来)



本市では、新規就農者を積極的に受け入れ6年になる。

**Q** 新規就農者に対する現状と課題は。

**A** 新規就農相談センターを設置し、相談を受ける体制をとっている。4名が新規就農者として営農を開始している。耕作する農地の確保など、課題に適切に対応し、農業経営が安定するように支援していく。

**Q** 本市で新規就農を希望する場合はどのように進めていくのか。

**A** 農林課の新規就農相談センターが窓口になり、経営計画書を策定し、東京都新規就農希望者経営計画支援会議での審査を経て推薦を受けることになる。

**Q** 農地利用最適化推進委員には「担い手」への農地利用の



集積、集約化」、「遊休農地発生防止と解消」、「新規参入の促進」の役割がある。この3つの目的に沿った具体的成果があったか。

**A** 新規就農者等に農地利用集積を行い、遊休農地化の防止と解消に努めている。

**Q** 新規就農者に西洋野菜の栽培で販路拡大を図ることは。

**A** 地産地消型のおぎる野農業を軸とし、特色ある農業経営という観点から適切に対応していく。

他に消防団について質問した。

## 都市計画道路について



清水 晃  
(明るい未来)



あきる野市合併前に都市計画道路として決定されている6路線が分断されている現状をどう思うか、以下伺う。

**Q** 都施行の森山下の区画整理地区内を通る秋3・3・4号線、ふれあいセンター北側を東西に通る秋3・4・5号線、また、市施行の武蔵引田駅東側を南北に通る秋3・4・13号線の今後の見通しは。

**A** 秋3・3・4号線及び秋3・4・5号線については、一部区間は整備済みとなっている。東京都では、今後の具体的なスケジュールなどは、特に決まっていないとのこと。



と。秋3・4・13号線については、予定している市街地整備に合わせて、道路整備を行う考えである。

**Q** 都施行の草花水沢橋交差点を南北に通る秋3・3・9号線及び市役所東側を南北に通る秋3・4・16号線は。

**A** 秋3・3・9号線は、事業中となっており、都が用地取得に向けた交渉を進めている。秋3・4・16号線の未整備区間については、現段階において事業化の時期は未定となっている。

**Q** 市施行の大悲願寺前を東西に通る秋3・5・2号線は。

**A** 現在までに伊奈地区側の約4割が完成している。整備手法等について、都と協議を進めながら、検討していく。他に防災、郷土の恵みの森構想について質問した。

## 財政について



奥秋 利郎  
(明るい未来)



**Q** 東京都は令和2年度当初に総額約9350億円あった財政調整基金が、新型コロナウイルス感染症対策で大幅に悪化し、年末には20分の1の500億円以下に減少すると聞く。あきる野市に対しての影響はいかがか。

**A** 今後、都税収入の減収が懸念される中、新型コロナウイルス感染症対策の強化、オリンピック・パラリンピック大会の対応に加え、感染症収束後の取組、デジタル化の推進などを掲げている。一方で、既存の施策の見直しを不断に行うとしており、予算編成の動向を注視する必要がある。

**Q** 民間の事業では担保や保証等がなければ金融機関が貸し出さないのが、借り入れはできないと考える。行政が事業を主導で行った場合には、その内容には関わらず限りなく起債を起すことができるのか。

**A** 起債には地方財政の法律により制限がかかっているため、限りなく起債は起こせない。限りある起債を有効に活用していくというのが、今のあきる野市の状況である。

他に木質バイオマスについて質問した。



## 地域経済の振興について



中村 一広  
(自民党志清会)



新型コロナウイルス感染症により地域経済に大きな影響が出ている。業種を問わず様々な事業所で過去にならぬ深刻な状況になっている。

**Q** 地域経済の見通しと課題は。  
**A** 国の緊急事態宣言や東京都の休業要請が解除されて以降、業況の改善が見られるものの、業種を問わず厳しい状況が続いていることから、この状況が当分の間、続くものと考えている。この見通しを踏まえ、当面の地域経済の課題としては、企業の経営改善を優先事項とし、雇用や賃金のほか、消費支出の維持を図ること

が必要であると考えている。

**Q** 市長からコロナ対策について直接担当部署に指示を出したことはあるのか。  
**A** 具体的な指示をしたことはまだない。

**Q** 企業連携の支援が今まで以上に必要になってくると思うが、市の考えは。  
**A** 現在、観光経済統計調査を実施しており、事業者間の連携によって商品の波及効果が生まれていることをつかんでいる。調査の中でも、事業者間の連携に着目している。

他に市内小・中学校周辺の交通安全対策について質問した。



## 生涯学習施設の 利用促進について



ひはら 省吾  
(自民党志清会)



スポーツ施設、図書館及び文化施設利用者増加のための現在の取組について伺う。

**Q** 中央図書館の昨年度の年間入場者数及び貸出冊数は。  
**A** 昨年度の入館者数は、28万871人で、1日平均949人。また、年間の個人の貸出冊数は、36万8220冊。

**Q** コロナ禍の中、中央図書館の入館者数及び貸出冊数の状況は。  
**A** 今年の10月の状況を例にすると、入館者数は、前年同月比で68%、貸出冊数では、92%まで回復している。

**Q** スポーツ施設である秋川体育館、市民プール、五日市ファインプラザは、指定管理者制度を導入しているが、五日市ファインプラザの開館日数は。  
**A** 現在の指定管理者からは、第2と第4、月によっては

今年度の10月の状況を例にすると、入館者数は、前年同月比で68%、貸出冊数では、92%まで回復している。

**Q** コロナ禍の中、中央図書館の入館者数及び貸出冊数の状況は。  
**A** 今年度の10月の状況を例にすると、入館者数は、前年同月比で68%、貸出冊数では、92%まで回復している。



他にシティプロモーションについて質問した。

## コロナ禍における 学校教育について



窪島 成一  
(自民党志清会)



**Q** 休校措置により、授業時間が削られる状況の中、各学校では授業時間数の確保はどのようにしたか。  
**A** 学習指導要領の内容を積み残すことなく学習の確保に努め、可能な範囲で、校外学習や遠足も行っている。

し、参観する保護者の制限などの対策を講じ、実施した。

**Q** 国や東京都の補助制度を活用した、感染予防目的の備品や消耗品はどのように活用したか。  
**A** 各学校に要望調査を行い、順次整備している。授業など、密集状態のリスクを回避するために活用している。

国や東京都の補助制度を活用した、感染予防目的の備品や消耗品はどのように活用したか。

**Q** 感染リスクを踏まえ、実施を見送った行事や事業も多いが、実施した事業はどのような対策を講じて実施したか。  
**A** 小・中学校の学校行事は、三密を避けるなどの対策をとり、実施の可否を決定した。例えば、運動会や体育大会など、競技種目の見直



小学校の日光移動教室は行われていないか。その際、どのような対策を講じて実施したのか。  
**A** 現時点で、10校中9校が実施した。バスの台数を増やし、1台当たりの人数を減らしたり、1部屋の宿泊人数を減らすなど感染予防の工夫をした。

他に町内会・自治会活動について質問した。

## 多摩都市モノレールについて



白井 建  
(自民党志清会)



**Q** 瑞穂町への延伸が動き出した。羽村市から延伸への連携の要請があり、また、市民による準備会が発足したが、市はどのように認識し、今後取り組んでいくのか。  
**A** 羽村市長の考え方に賛同し、モノレール延伸に向けた連携・協力を約束した。現在までの間、羽村市等との連携・協力について具体的な取組はないが、必要に応じて羽村市と情報交換を行っている。モノレール延伸に向け歩調を合わせていく。準備会は市の方向性と一致していることから、何らかの支援をしていきたい。

**Q** 本市へのモノレールの延伸を実現するためには、羽村・八王子と共同で沿線まちづくり構想を創り、市民に対しモノレールが走るイメージを提供することが必要で

ある。また、人口減少時代の秋留台地活性化プランを都と本市が共同で策定する取組も進めるべきである。市長は、どうすればモノレールがあきる野を走るようになるかと考えるか。  
**A** 連携の依頼を受けた羽村市と歩調を合わせ、また、市民の機運醸成に向け、準備会に必要な支援をしながら、モノレール構想の進展に取り組んでいきたい。

他に、いじめ・不登校対策等について質問した。



## 防災行政無線について



堀江 武史  
(自民党志清会)



防災行政無線は、市民の安心安全のために災害時等の緊急放送や子どもたちの見守り、特殊詐欺の注意喚起、チャイムによる時報などに使用している。

**Q** デジタル化して不具合などはあるのか、さらに苦情の件数は。

**A** 調整が必要な箇所について個別の対応を行っており、基本的な運用に係る不具合は発生していない。苦情の件数は、令和2年度になつてから15件、内容は、子局からの音が聞こえない、言葉が聞き取れないというものが多くなっている。

**Q** 反響等で聞き取りにくい状況がある。間隔を空けて放送する工夫はしているか。

**A** 本市では、現在のところ緊急放送を重視し、一斉放送を聞こえやすくするために、スピーカーの角度調整、音量等の調整を行っている。

**Q** 「うるさい」という苦情に関して、火災放送を除いて、地域限定放送も検討しては。

**A** 地域限定であるべき情報の場合、対応したい。

**Q** 子どもの見守り放送について、見守りを効果的にするために小学生の声で放送したらどうか。

**A** 教育委員会と連携し、実行できるように調整したい。

他に武蔵引田駅北口土地区画整理事業について質問した。



## 公共交通の未来について



村野 栄一  
(自民党志清会)



**Q** 本年9月定例会議後に開催された公共交通検討委員会における現状と今後についての議論は。

**A** 深沢区域での実証実験の結果と草花折立区域での実証実験の経過報告があり、るのバスを含む公共交通対策について議論した。今後、状況の調査、検討をしていく。

**Q** 一日も早い市民の足の確保のため、草花折立区域で実施中の実証実験の結果を待たず、他の場所でも早急に実証実験等を実施できるように、公共交通検討委員会で議題としては。

**A** 交通需要の確保に向けた取組等は並行して行い、委員会で検討を進め、必要に応じて他区域での実証実験に取り組んでいく。

**Q** 志清会の提案しているチョイソコのケースは、東京都



## 職場体験について



子籠 敏人  
(自民党志清会)



新型コロナウイルスの影響で中学生の職場体験が行えない状況となった。子どもたちの将来のためにも可能性が膨らむ機会を提供してもらいたいと考え、伺つ。

**Q** オンラインでの職場体験を取り入れてはどうか。

**A** オンラインによる職場体験は、連携先の企業等の場所や職種、活動内容が広がるものと考えられるので、今後、キャリア教育の新しい方法として検討していく。

**A** てはどうか。  
B i @ S t a との連携により、起業した方の話を聞くことは、中学生にとっても興味深いものなので、オンラインによる職場体験を行う際に検討していく。

**Q** 職場体験だけでなく、講演会などでもオンラインを活用してはどうか。

**A** オンラインを活用した講演会は、ゲストティーチャータや講師をはじめ、様々な人とつながる機会になる。各教室や体育館に無線LANが整備されるので、今後、各学校で取組が広がっていくと期待できる。

他に産後うつ、協働のまちづくり、来年度予算における財源確保について質問した。



**Q** あきる野創業・就労・事業承継支援ステーション B i @ S t a で起業された方々からも学べるようにし

**Q** 産業界企業誘致をすることで東京都と合意し進めてきたが、市長は「ここへ特養施設をつくる」と要望したり、最近では「企業誘致だ」と、発言や行動が異なり、都との交渉もこの1年間止まっている。どうしたいのか。

**A** この土地の一面に老人福祉施設を誘致すると発言をしてきたが、それは取りやめにして、企業誘致を図るということにした。

**Q** 今度は市有地に特養施設をつくるという出したが、介護士の育成や待遇の改善が優先課題であり、特養施設整備は行わないと市の事業計画で策定されている。更に市長の施設整備発言に反対する陳情書が議会で採択されている中での強行は、議会や市の計画を軽視していることにならないか。

**A** 中嶋議員は知識が薄いので



そういう発言があるうかと思うが、私は介護基盤を整備していく。委員会が策定する諮問案に記載されるであろうことはすべて実現する。

**Q** 話が噛み合わないが、策定委員会の意見を無視して進めたら、議論してきたことは何だったのかとなり、今後、委員会が機能しなくなってしまうのではないか。

**A** 中嶋議員は知識が薄いのでそういう発言をされていると思うが、まだ答申を受けていないのでわからないが、介護保険の保険者の代表としてこれから地域包括ケアをさらに進化をさせていく。

## 秋川高校跡地について



中嶋 博幸  
(自民党志清会)





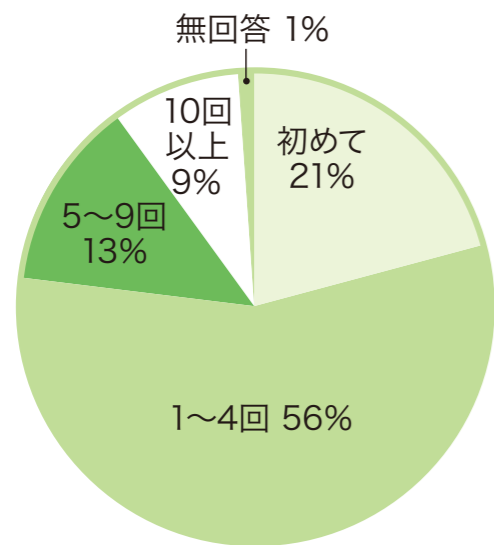
# 傍聴者アンケートの集計結果をお知らせします。

～ご協力いただき、ありがとうございました。～

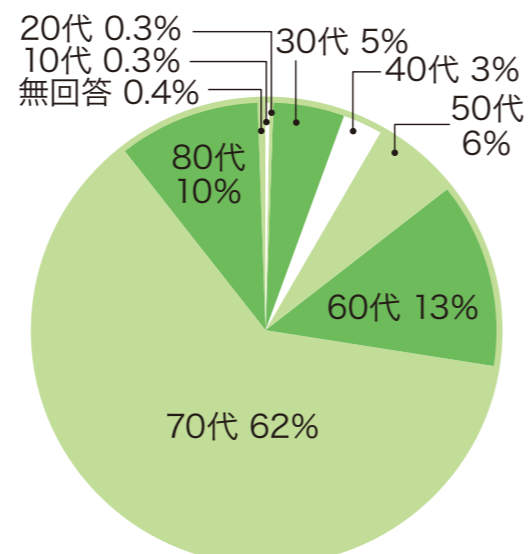
あきる野市議会では、市民に開かれた議会を目指す取組の参考とするため、傍聴者アンケートを実施しました。このたびアンケートの集計結果がまとまりましたので、その概要をご紹介します。

- ① 調査時期：3月定例会議、6月定例会議、9月定例会議、12月定例会議
- ② 調査対象：本会議及び委員会の傍聴者
- ③ 調査方法：受付時にアンケート用紙を配付、記入後、回収箱に投函
- ④ 回収数：239枚

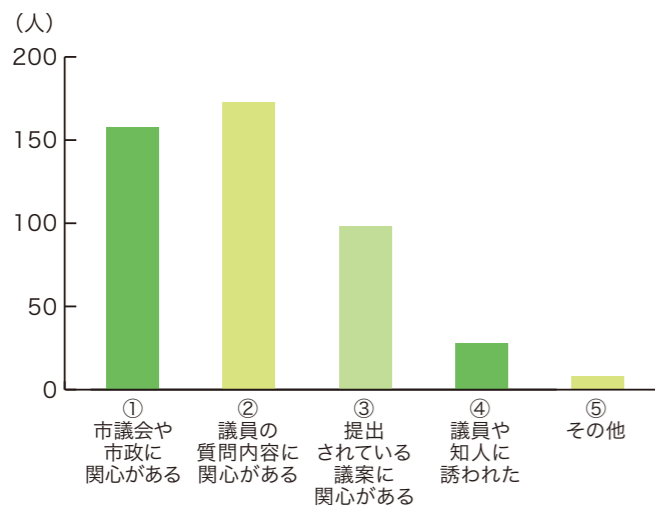
## Q1 年に何回ぐらい傍聴に来ていますか



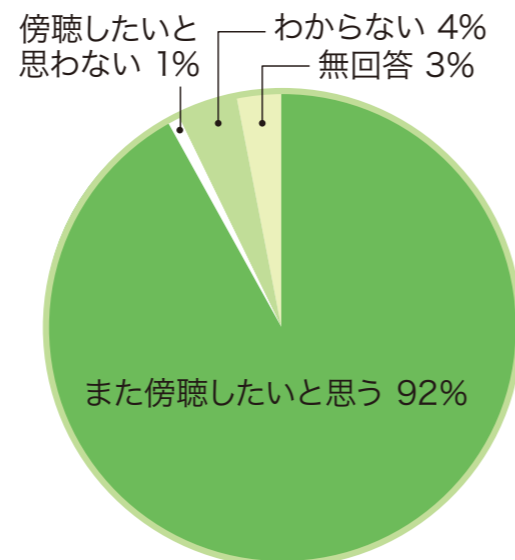
## Q2 年齢を教えてください



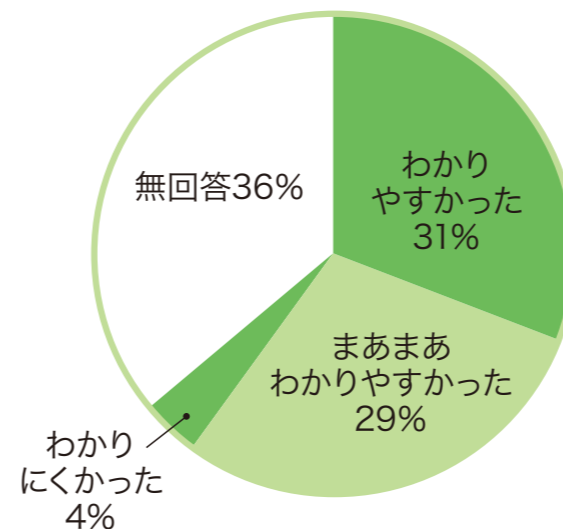
## Q3 議会を傍聴された理由を教えてください(複数回答可)



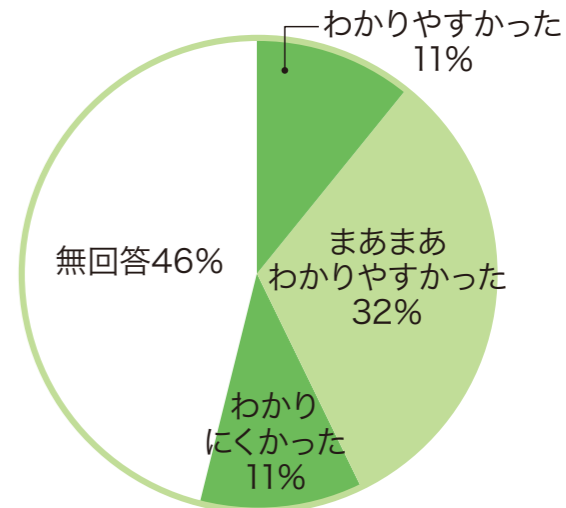
## Q4 今後も傍聴したいと思いますか



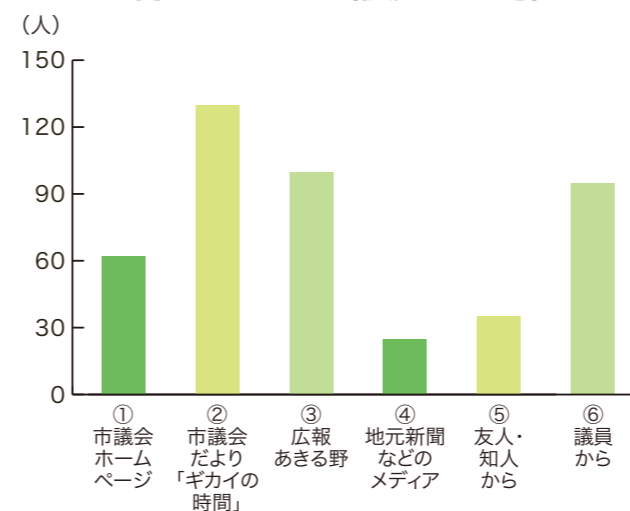
## Q5-1 本日の議会でのやりとりはいかがでしたか(議員)



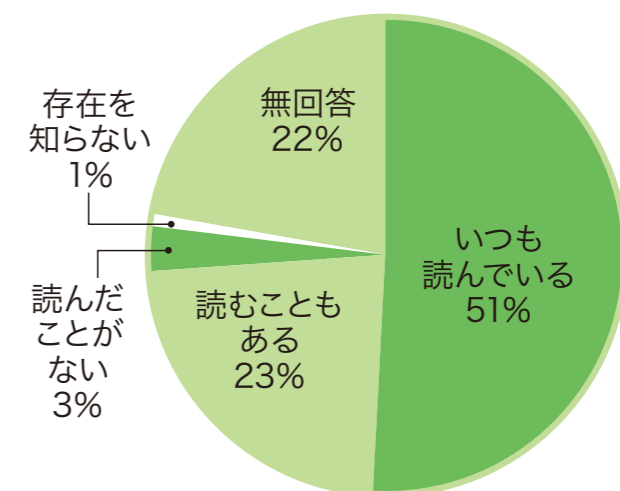
## Q5-2 本日の議会でのやりとりはいかがでしたか(市側)



## Q6 普段、議会に関する情報を何から得ていますか(複数回答可)



## Q7 市議会だより「ギカイの時間」を読んでいますか



### — 講評 —

傍聴者は70代が圧倒的に多く、傍聴回数としては初めての傍聴が約2割、年に5回以上の傍聴も約2割でした。議員の質問内容や市議会、市政への関心から傍聴する方が多く、今後も傍聴したいという回答が92%を占め、議会への関心の高さがうかがえます。議会でのやりとりについては、議員側の方がわかりやすいという傾向でした。議会の情報を「ギカイの時間」から得ているという回答が最も多く、7割以上が「ギカイの時間」を読んでいるというのは嬉しい結果です。その他、自由記載欄には様々な貴重なご意見をいただきました。今後の議会運営の参考にさせていただきます。